

瀬戸谷地域の地域ブランド戦略に関する研究

静岡産業大学 経営学部 小泉研究室

教 員：教授 小泉祐一郎

参加学生：宮奥大輝、森汐夢、節政聖倫、中川元希、
永谷哲也、中安純平、保坂昇希、丸野峻平、
三浦滉太、早川尚紀、萩下翔輝、西統生、
奥山祐太、横山竜輝

1 要約

本研究は、道の駅の開設が予定されている瀬戸谷温泉ゆらく及びその周辺地域の地域資源、さらに瀬戸谷地域の観光施設を調査するとともに、中山間地域の振興における先進地である川根本町の先進事例を調査し検討を重ねた結果、道の駅を拠点とした試行体験を通じて、瀬戸谷地域の観光施設への誘客を図るという農業と観光が融合した「瀬戸谷まるかじり体験」による藤枝市瀬戸谷地域の地域ブランドの形成を提言するものである。

2 研究の目的

本研究は、藤枝市を流れる瀬戸川の上流の中山間地域である瀬戸谷地域の地域活性化を図るため、地域ブランド戦略を提言することを目的としている。

3 研究の内容

本研究では、学生が教員とともに道の駅の設置が検討されている「瀬戸谷温泉ゆらく」をはじめ、若者の視点から魅力的な地域資源を選定し地域資源の現状及び可能性を調査した。そして、中山間地域における地域活性化の先進地である川根本町の先進事例を調査し、地域資源を活用した地域ブランド戦略の検討を行った。

瀬戸谷地域の地域資源調査及び川根本町の先進事例調査の概要は、以下のとおりである。

(1) 瀬戸谷温泉ゆらく及びその周辺の地域資源

① 瀬戸谷温泉ゆらくの調査

瀬戸谷温泉ゆらくに入館し、館長から説明をいただくとともに、物産や飲食メニュー、温泉施設の状況を調査した。藤枝の市街地の高齢者の方が常連客として来ていることが特徴的であった。温泉施設については、サウナが狭いこと、日光浴ができることはいいこと、露天風呂の存在は魅力的であることなど、学生から意見が出された。

② 瀬戸川の活用実験

道の駅の建設が計画されている瀬戸谷温泉ゆらく周辺の瀬戸川の活用実験を行った。ゴムボートを利用した川遊びの可能性を探るため、瀬戸谷地区の親子の協力を得て、学生が子供や母親を乗せたボートを川の中で移動させて親子から感想を聴取した。親子の感想は、快適で良かったとのことであった。ゴムボートの利用が瀬戸川のどの範囲で可能かどうかを学生が実際に調査した結果、瀬戸谷温泉ゆらく周辺は、大雨の後でなければ安全に利用可能であることがわかった。

③ 自然環境の調査

地域の方の御協力をいただき、自然観察や環境教育の可能性を探るため、地元の方にカブトムシ等の生息場所を教えていただいた。また、瀬戸川の護岸には小魚が生息していることがわかった。

④瀬戸谷地域の農産物の調査

農産物販売施設「ちょっくら」で販売されている季節ごとの農産物の現物を調査するとともに、地元の方から説明をしていただいた。瀬戸谷地域では、バーベキューの食材として活用できる「玉ねぎ」、「ピーマン」などの野菜や原木栽培の「しいたけ」が栽培されており、学生からは瀬戸川を見ながらバーベキューができればいいといった意見が出された。

⑤道の駅の計画のヒアリング

瀬戸谷温泉ゆらくの周辺で予定されている道の駅の計画について、瀬戸谷地域にある藤の瀬会館で藤枝市中山間地域の担当者の方から説明をしていただいた。

[瀬戸谷温泉ゆらく及び瀬戸川、瀬戸谷地域の農産物等の調査の写真]



「瀬戸温泉ゆらく」の館長の説明



農産物販売施設「ちょっくら」の調査

(2) 瀬戸谷地域の観光施設の調査

瀬戸谷地域のブランド戦略で活用する可能性の高い観光施設を体験的に調査し現状・課題と可能性を検討した。

①グラススキー場の現地調査

静岡産業大学の磐田キャンパスOBの桑原さんの指導の下、グラススキー、マウンテンボード、ポッカル、そりを体験して調査するとともに、グラススキー場の状況をヒアリングした。

②大久保キャンプ場の現地調査

静岡産業大学の磐田キャンパスOBの桑原さんの案内で、キャンプサイト、川遊び施設、バーベキューハウスなどの施設を見学し、手ぶらでバーベキューを体験調査しヒアリングを行った。

③陶芸センターの調査

藤枝市が設置し、瀬戸谷地域の地元住民が共同で経営する会社に運営を委託している陶芸センターにおいて陶芸体験を調査しヒアリングを行った。

④スポーツパル高根の郷の調査

静岡国体の開催に当たり静岡県が建設した射撃場が藤枝市に移管されており、射撃の練習や大会に県内外から来訪者がある「スポーツパル高根の郷」の射撃体験を調査し、管理者の職員の方からヒアリングを行うとともに、県外から練習に来ていたパラリンピックの日本代表監督と選手の練習を見学した。

[瀬戸谷地域の観光施設の調査の写真]



大久保グラススキー場の体験調査



高根の郷スポーツパルの体験調査

(3) 川根本町の先進事例の調査

中山間地域の活性化の先進地域である川根本町の取組を調査した。

① ウッドハウスおろくぼの現地調査

バーベキュー施設、宿泊施設、研修施設の状況を体験的に調査した。施設の管理人である城野忠信さんからお話を伺った。

② 移住者のヒアリング調査

川根本町に移住して飲食業をしている佐々木直也さんのお話を伺った。佐々木さんは、川根本町議会の議員としても地域で活動している。

③ 体験型農場「恋がね農園」の調査

体験型農場「恋がね農園」が行う農産物の収穫体験を行い、関係者からのヒアリングを行った。

④ 道の駅「茶銘館」の調査

道の駅として長年営業している茶銘館の施設及び利用状況の調査を行うとともに、訪問した当日限定で開催していたお茶の試飲のイベントに参加して体験的に調査を行った。

[川根本町の先進事例の調査の写真]



恋がね農園の農業体験調査



茶銘館のお茶の試飲体験イベント

(4) 大学での検討

静岡産業大学藤枝キャンパス及び藤枝駅南口のサテライトキャンパスにおいて、学生が検討を行

うとともに、瀬戸谷地域の農産物を活用した瀬戸谷バーベキューの試行を行った。瀬戸谷地域では、季節ごとに旬の農産物が生産されていることから、季節の旬のものを使ったバーベキューを体験的に調査した。

4 研究の成果

(1) 当初の計画

本研究では、道の駅の開設が予定されている瀬戸谷温泉ゆらく及びその周辺地域の地域資源、さらに瀬戸谷地域の観光施設を調査するとともに、中山間地域の振興における先進地である川根本町の先進事例を調査し検討を重ねることで、藤枝市瀬戸谷地域の地域ブランドの形成の提言をすることを計画していた。

(2) 実際の内容（Aは予定どおり、Bは一部修正、Cは中止など）とその理由

A 本研究は、当初の計画どおりの調査研究を実施することができた。

(3) 実績・成果と課題

本研究では、瀬戸谷地域の地域資源の調査及び川根本町の先進事例調査の結果、瀬戸谷地域の地域ブランドとして、農業と観光が融合した取組みを「瀬戸谷まるかじり体験」としてとりまとめた。具体的には、新たに開設される道の駅を拠点とした試行体験を通じて、瀬戸谷地域の観光施設への誘客を図る新たな方法を考案した。

(4) 今後の改善点や対策

農業と観光の融合を図るためには、試行的な実施をする中でノウハウを蓄積する必要がある。そのための対策としては、瀬戸谷地域だけでなく藤枝市内外の人材も参画した体制を整備することが考えられる。

5 地域への提言

農業と観光が融合した「瀬戸谷まるかじり体験」の取組みの具体例として、瀬戸谷温泉ゆらくの隣に流れている瀬戸川で、3 (1) ②のボートによる川遊びを試行体験してもらい大久保キャンプ場の川遊び施設を紹介する、瀬戸谷地域の農産物を「瀬戸谷バーベキュー」として有料で試食してもらい次回は大久保キャンプ場の「手ぶらでバーベキュー」の誘客につなげる、又は、農産物の販売所での購買につなげるといったことが考えられる。さらには、川根本町で行われている農業体験は、道の駅周辺の農地で十分可能な内容であることがわかった。

6 地域からの評価

本研究を進める中で、瀬戸谷地域の方々からは、若者の視点で体験的な調査研究に取り組んでいることに強い好感を示していただいた。また、瀬戸川を使ったボートの川遊びなどに地域の方に参加いただき、また、観光施設の方からのヒアリングで意見交換をさせていただいたことで、本研究に対して関心を持っていただいた。